

I 理念

当院は長野市にあり、長野県北信地域の基幹病院です。内科は、循環器内科、血液内科（腫瘍内科を含む）、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、膠原病リウマチ内科、糖尿病内分泌内科、総合内科と各専門領域をくまなく網羅し、また各診療科間にまたがる疾患も広く研修することができます。

こうした診療環境を背景に、新専門医制度では柔軟でかつ効果的な研修を提供します。そして幅広いだけでなく、それぞれの分野の専門医が研修内容の質を確実に保証します。研修期間中あるいは終了後の大学・高度専門施設との連携を行い、研修終了後の進路選択が広い視野で行えるように十分配慮し、総合力を持ち、高い専門性を持つ専攻医を育てます。

II 特徴

1. 専攻医は総合内科に所属し、各科をローテートします。内科学会指導医27名（うち総合内科専門医17名）と13領域全ての専門医が少なくとも1名以上在籍し、外来患者診療を含め豊富な症例を経験できます。
2. 専攻医2年目はサブスペシャリティの研修に専念することが可能です。
3. 専攻医2年目終了時に、プログラムの終了要件である56疾患群以上160症例の経験および29症例の病歴要約を、院内にいる指導医の直接の指導の下に日本内科学会専攻医登録評価システム（J-OSLER）へ登録することが可能です。
4. 総合内科外来で2年間を通じて外来診療を経験できます。
5. 当院は救急搬送患者が多く、充実したバックアップ体制のもとプライマリケアから3次救急まで修得することができます。
6. 専攻医3年目に研修する連携施設・特別連携施設には、高次機能・専門病院3施設および地域医療密着型病院3施設、計6施設あり、専攻医のさまざま希望・将来像に対応可能です。

III カリキュラム

1. 研修期間：3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）
2. 受け入れ可能人数：7名

図1 長野赤十字病院内科専門研修プログラム（概念図）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	内科1		内科2		内科3		内科4		内科5		内科6	
	初診+再診外来（総合診療科）											
	救急・当直研修を行う											
	1年目にJMECCを受講											
2年目	内科7		希望科での研修									
	初診+再診外来（総合診療科）											
	救急・当直研修を行う											
3年目	連携施設						連携施設					
そのほかの要件			安全管理セミナー・感染セミナーの年2回の受講、CPCの受講、2編の学会発表または論文発表									

内科1～7および希望科は以下の各領域をローテートする

- 消化器
- 循環器
- 内分泌・代謝
- 腎臓
- 呼吸器・感染症・アレルギー
- 血液
- 神経・膠原病

IV 研修施設群

1. 連携施設：

信州大学附属病院

国立がんセンター中央病院

埼玉県立呼吸器循環器病センター（呼吸器内科）

飯山赤十字病院

長野松代総合病院

2. 特別連携施設

川西赤十字病院

(平成 29 年 1 月現在、剖検数：平成 27 年度)

	病院	病床数	内科系病床数	内科系診療科数	内科指導医数	総合内科専門医数	内科剖検数
基幹施設	長野赤十字病院	680	283	10	27	17	8
連携施設	信州大学附属病院	697	199	17	56	34	24
連携施設	長野松代総合病院	361	120	6	7	5	2
連携施設	飯山赤十字病院	284	90	6	3	1	0
連携施設	国立がん研究センター中央病院	600	287	14	27	22	23
連携施設	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	319	180 うち結核 51	2	9	5	2
特別連携施設	川西赤十字病院	84	28	1	0	0	0